



平成 27 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ANAP
代表者名 代表取締役社長 家高 利康
(J A S D A Q ・ コード番号 3189)
問合せ先 専務取締役 竹内 博
(TEL. 03-5772-2717)

たな卸資産評価損及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

このたび、平成 27 年 8 月期第 3 四半期会計期間（平成 27 年 3 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日）におきまして、下記の通り、たな卸資産評価損及び特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損（売上原価）の計上

当社の保有するたな卸資産において、「棚卸資産の評価に関する会計基準企業会計基準第 9 号」に基づき、収益性が低下した商品の簿価を切り下げ、差額である 72 百万円を売上原価として計上いたしました。

なお、今回評価損を計上したたな卸資産としての商品は、需要が見込まれます 6 月から 8 月にセール品として販売を予定しております。

2. 特別損失（固定資産の減損処理）の計上

当社の保有する事業用資産において、収益性の低下がみられたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 85 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、平成 27 年 8 月期第 2 四半期累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めて第 3 四半期累計期間の減損損失（特別損失）は 214 百万円であります。

3. 業績への影響

平成 27 年 4 月 10 日に公表いたしました平成 27 年 8 月期の通期業績予想につきましては、修正はありません。

以上